

アドビシステムズ社が 2000 年会計年度第 4 四半期および年度全体において 過去最高の売り上げを記録

第 4 四半期の売り上げは前年比 26% 成長、営業利益は 51% 成長を達成

米国カリフォルニア州サンノゼ発 (2000 年 12 月 14 日) (NASDAQ:ADBE) Adobe Systems Incorporated (本社: 米国カリフォルニア州サンノゼ) は、過去最高の売り上げと営業利益を含む、2000 年度第 4 四半期 (2000 年 9 月 ~ 2000 年 11 月期、2000 年 12 月 1 日をもって終了) 及び会計年度の決算結果を発表しました。

2000 年度第 4 四半期の売り上げは、過去最高となる 3 億 5,520 万米ドルとなりました。前年同期実績は 2 億 8,180 万米ドル、および本年第 3 四半期は 3 億 2,890 万米ドルでした。売り上げは年率 26% の成長を達成したことになり、6 期連続で過去最高の売り上げを達成しました。

2000 年会計年度全体の売り上げは、過去最高となる 12 億 6,600 万米ドルを記録しました。前年度実績の 10 億 1,500 万米ドルに比べ、年率 25% の成長を達成しています。

アドビシステムズ社の会長兼 CTO であるジョン E. ワーノックは、「本年は実に目覚ましい年でした」と述べ、さらに「アドビ社は現在、あらゆる点において過去最高のポジションにいます。市場の機会とアドビの得意分野がぴったり一致しています」と述べています。

今期の純利益 (営業外損益を含む) は 7,920 万米ドルでした。なお前年同期実績は 9,740 万米ドル、本年第 3 四半期は 7,830 万米ドルでした。年度全体では過去最高の 2 億 8,780 万米ドルを達成しました。前年度は 2 億 3,780 万米ドルでした。

2 億 5,730 万株の加重平均株数に基づく今期の総発行株式 1 株当たりの利益は、0.31 米ドルでした。前年同期の 2 億 5,480 万株に基づく同利益は 0.38 米ドル、本年度第 3 四半期の 2 億 5,580 万株に基づく同利益は 0.31 米ドルでした。

同社のベンチャー投資プログラムからの投資損益、買収に伴う営業権の償却費、進行中の研究開発の一括償却費などを除いた今期の総発行済株式 1 株当たりの利益は 0.34 米ドルでした。

今期における営業権の償却費、事業再編等に伴う費用、進行中の研究開発の一括償却費を除く営業利益は、過去最高の 1 億 2,750 万米ドルでした。前年同期実績は 9,000 万米ドル、本年第 3 四半期は 1 億 710 万米ドルで、前年同期比で年率 42% の成長になりました。売り上げに対する営業利益率は今期が 35.9%、前年同期が 32.0%、本年第 3 四半期が 32.6% でした。

アドビシステムズ社は、前回掲げた2001年度の売り上げ成長ならびにオペレーティングモデルの目標についても再確認しました。アドビシステムズ社 社長兼CEOであるブルースチゼンは、「2001年に向け、当社は世界的なIT市場全般の状況を検討してきました」と述べ、さらに「産業の成長が緩やかになるとの報告もありますが、特にインターネットに牽引されてネットワークパブリッシング関連の経済成長は今後も力強いと予測しています。第1四半期ならびに年度全体で売り上げが最低25%伸びると確信しています」と述べています。

同社は2001年度において、売上利益率93%および営業利益率32%とすることを引き続き目標としてしています。さらに、四半期当たりおよそ500万米ドルの営業外収益を目標とし、四半期当たり平均300～400万株を増やすことを目標としています。

同社は2001年第1四半期において、研究開発費は売り上げに対しておよそ18%、販売・マーケティング経費はおよそ34%を予測していることを示唆しました。同年の残りの期間については、研究開発費は19%、販売・マーケティング経費は33%、一般管理費は9%を目標としています。

アドビシステムズ社取締役会は、2001年1月4日時点のアドビシステムズ社の株主に対して、2000年1月18日付けで配当される1株当たりの今期配当金は0.0125米ドルになると発表しました。

本プレスリリースは、実際の業績を大幅に異ならせる可能性のあるリスクと不確実性を内包した将来的観測を含みます。そのような原因となり得る要素として、少なくとも以下のようなものが挙げられます。

- ・新製品やアップグレード製品が市場に受け入れられない可能性
- ・新製品や既存の製品の新しいバージョン納入の遅延
- ・競合他社の新製品の市場投入
- ・製品の平均売価の下落
- ・業界の新しい物流およびビジネス、情報配信モデルへの移行
- ・製品の過渡期にあることによるプリンティングビジネスの弱さ
- ・ビジネスを行っている地域での経済的混乱

ただし、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。詳しいリスクと不確実性については、Form10-K中の1999年決算報告書および2000年版Form10-Q中の四半期決算報告書などを含む証券取引委員会（SEC）資料をご参照下さい。

アドビシステムズ社について

アドビシステムズ社は、1982年に創立された、米国カリフォルニア州サンノゼに本社をおくソフトウェア会社です。これまで、Web、印刷、ネットワークパブリッシングで定評のある様々なソフトウェアソリューションを提供し、多くの業界賞を受賞してきました。その優れたグラフィックデザイン、イメージング、映像動画、そしてオーサリングのためのツールは、豊かな視覚効果にあふれ、信頼度の高いコンテンツの制作、管理、配信を可能にします。アドビシステムズ社は米国を本拠とするパーソナルコンピュータ用ソフトウェア会社中第2位で、1999年の年商は10億ドルを超えています。アドビシステムズ株式会社はその日本法人です。詳細な情報は、Webサイトwww.adobe.co.jpでご覧いただけます。